

萩ジオパーク：須佐エリア

萩城下町の北東 38km、須佐湾と江崎湾に挟まれた日本海に突き出ている岬が高山である。高山の西にある須佐とその東にある江崎には、素晴らしい天然の港がある。この地域は特に海の幸がよく知られており、特に「男命いか」と呼ばれているケンサキイカは、過去 100 万年の間にこの地域で発生した多くのマグマによってできたゴツゴツした海底に生息している。

この地域で最も有名な地質的特徴は、海から突き出ている高さ 12m の帯状の美しい断崖、須佐ホルンフェルスである。ホルンフェルスとは、世界各地で見られる変成岩のことを指す。名前の由来は、ドイツ語で「角の石」を意味する言葉で、岩が何層にも重なったような外観と、動物の角を思わせる強靱さから来ている。

須佐ホルンフェルスは、泥岩と砂岩の層でできている。これらの層は、約 1,500 万年前に砂と泥が交互に海底に堆積したため、ゆっくりと形成された。その後、マグマによって急速に加熱され、それらの層が結晶化してホルンフェルスを形成した。濃い色の帯は泥の層からできたもので、薄い色の帯はかつて砂だった。ホルンフェルス形成後のある時点で地質的に大きな変化があり、石が持ち上げられて崖が形成された。萩の海岸線にあるこの地質的奇跡と、スペインのスマイアにあるフリッシュとの間には、類似点が見られる。

アクセス：JR 須佐駅からタクシーで 10 分

入場無料、24 時間営業

須佐ホルンフェルス Google マップリンクは[こちら](#)